

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	相談援助の基盤と専門職B（Professional basis of social work practice B）		
ナンバリングコード	E20923	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル 社会福祉
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 後期
必修・選択区分	選択：経営経済学部 コース選択必修：情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E042151	クラス名	-
担当教員名	橋本 拓		
履修上の注意、 履修条件	履修条件：社会福祉援助技術演習Ⅰ受講者で、原則「相談援助の基盤と専門職A」（2年前期）単位 修得者のみ受講可 社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な科目です。 聴くこと、見ること、調べること、そして、真剣に考え取り組むことを心がけてください。		
教科書	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編 最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉 士養成講座11 『ソーシャルワークの基盤と専門職[共通・社会専門]』 中央法規出版		
参考文献及び指定図書	杉本敏夫監修・木村淳也・小口将典 編 『ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ（専門）』 ミネルヴァ 書房 相澤譲治監修・植戸貴子編集 『新版ソーシャルワークの基盤と専門職【基礎編・専門編】』 みらい 社会福祉原論、高齢者福祉論、障害者福祉論、児童福祉論、公的扶助論、地域福祉論、社会保障 論など		
関連科目			

○基本情報		
授業の目的	①社会福祉士の職域と求められる役割について理解する。 ②ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について理解する。 ③ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と関連性について理解する。 ④総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解する。	
授業の概要	相談援助の理念、権利擁護の意義と範囲、専門職の概念と範囲及び専門職倫理、総合的かつ包 括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解を深めていきます。 また、地域社会における実情等を踏まえ、考察を深めていきます。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員に よる授業科目	橋本拓 社会福祉協議会、居宅介護支援センター等において、社会福祉士業務に従事	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試 験・中間確	提出物 (レポート・ 作品等)	無形成果 (発表・そ の他)
【関心・意欲・態度】	地域社会における課題・ニーズに対し、関心持つとともに地 域での生活者の一人として意識することができる。		10点	
【知識・理解】	①相談援助の理念②相談援助における権利擁護の意義と範 囲③相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理④ 総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容につい て理解している。	60点		
【技能・表現・ コミュニケーション】	社会福祉分野における現状と課題等について説明することが できる。		15点	
【思考・判断・創造】	社会福祉分野における現状と課題等について考察することが できる。		15点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
リアクションペーパー等の提出状況(学修に取り組む姿勢・意欲)及び内容(専門知識の活用等) [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 課題のフィードバックについて、希望者は次回以降にリアクションペーパー等の講評・解説を行います。	

○その他

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	相談援助の基盤と専門職B (Professional basis of social work) 橋本 拓	授業コード	E042151
学修内容					
1. ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲①					
社会福祉専門職の成立条件と資格制度について整理し、ソーシャルワーカーに求められる専門性について理解を深めていきます。					
※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。					
予習		ソーシャルワーカーの独自性・専門性について事前学習			約2時間
復習		講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
2. ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲②					
社会福祉士の職域や役割について、多様な組織、機関、団体における連携を踏まえながら理解を深めていきます。					
※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。					
予習		社会福祉士の活躍する職域について具体例を取り上げ、現状と課題について事前学習			約2時間
復習		講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
3. ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲③					
主要先進諸国のソーシャルワーカーの養成制度や実践分野について理解を深めながら、ソーシャルワーカーの多様性について学んでいきます。					
※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。					
予習		アメリカ・イギリスの社会福祉の歴史的変遷を振り返りながら事前学習			約2時間
復習		講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
4. ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク①					
ソーシャルワークの固有の視点や多様な機能について理解を深めていきます。					
※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。					
予習		ソーシャルワークの機能について事前学習			約2時間
復習		講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
5. ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク②					
ミクロ・メゾ・マクロレベルのソーシャルワークの意味・対象・介入方法について理解を深めていきます。					
※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。					
予習		ミクロ・メゾ・マクロレベルそれぞれの対象として、具体的な例について事前学習			約2時間
復習		講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
6. ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク③					
ミクロ・メゾ・マクロレベルの連関性と、すべてのレベルを視野に入れた実践の必要性について、事例を踏まえながら理解を深めていきます。					
※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。					
予習		コミュニティソーシャルワークについて事前学習			約2時間
復習		講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
7. ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク④					
ミクロ・メゾ・マクロレベルの連関性と、すべてのレベルを視野に入れた実践の必要性について、事例を踏まえながら理解を深めていきます。					
※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。					
予習		ソーシャルワークの予防機能およびリスクマネジメント機能について事前学習			約2時間
復習		講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
8. ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク⑤					
ミクロ・メゾ・マクロレベルの連関性と、すべてのレベルを視野に入れた実践の必要性について、事例を踏まえながら理解を深めていきます。					
※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。					
予習		独立型社会福祉士について事前学習			約2時間
復習		講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	相談援助の基盤と専門職B (Professional basis of social work) 橋本 拓	授業コード	E042151
学修内容				
9. ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク⑥				
ミクロ・メゾ・マクロレベルの連関性と、すべてのレベルを視野に入れた実践の必要性について、事例を踏まえながら理解を深めていきます。				
※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	スクールソーシャルワーカーについて事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
10. ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク⑦				
ミクロ・メゾ・マクロレベルの連関性と、すべてのレベルを視野に入れた実践の必要性について、事例を踏まえながら理解を深めていきます。				
※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	ジェノグラムおよびエコマップについて事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
11. ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク⑧				
ミクロ・メゾ・マクロレベルの連関性と、すべてのレベルを視野に入れた実践の必要性について、事例を踏まえながら理解を深めていきます。				
※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	成年後見制度および日常生活自立支援事業について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
12. ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク⑨				
ミクロ・メゾ・マクロレベルの連関性と、すべてのレベルを視野に入れた実践の必要性について、事例を踏まえながら理解を深めていきます。				
※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	社会福祉協議会の業務内容について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
13. 総合的かつ包括的な支援と他職種連携の意義と内容①				
包括支援体制における社会福祉士の役割について、社会福祉実習における教育に含むべき事項を踏まえながら、理解を深めていきます。				
※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	社会福祉実習における教育に含むべき事項(10項目)の内容について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
14. 総合的かつ包括的な支援と他職種連携の意義と内容②				
施設エコマップの作成を通して、ソーシャルワーク実践における多職種連携の理解を深めていきます。				
※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	実習先施設の社会資源について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
15. 総合的かつ包括的な支援と他職種連携の意義と内容③				
作成した施設エコマップに基づきプレゼンテーションを行うことで、総合的かつ包括的な支援の実際と多職種連携の意義についての理解を深めていきます。				
※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	実習先の地域の特性について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
16. 期末試験				
期末試験の詳細は第15週目にお伝えします。				
予習				
復習				